地域と学校の連携・協働推進ハンドブック

～ 集まれ！地域のチカラ　輝け！学校のミライ～

愛知県生涯学習審議会社会教育分科会
愛知県社会教育委員連絡協議会

昨今、地域と学校を取り巻く課題は複雑化・多様化しており、子供たちの学びや育ちを地域全体で支えるため、地域と学校の連携・協働を一層推進することが求められています。そして、その仕組みとしての「コミュニティ・スクール」の導入、「地域学校協働本部」の整備も求められています。

平成28・29年度に愛知県生涯学習審議会社会教育分科会で「地域と学校が連携・協働した取組に関する調査」を実施し、その結果や課題、今後に向けた提言を「地域と学校の協働の推進について」として平成30年３月にまとめました。

以後、６年が経過し、県内の多くの市町村ではコミュニティ・スクールの導入が進み、地域と学校が連携・協働した様々な取組が進められるようになっています。コミュニティ・スクールの導入に伴い、地域学校協働活動推進員・地域コーディネーターの配置や地域ボランティアの募集も進み、地域と学校の連携・協働に対する地域住民等の関心も高まっています。

こうした中、地域と学校の連携・協働に関する愛知県の現状を改めて整理するとともに、連携・協働に関わる関係者が今後の活動に向けて参考とすることができるよう、本ハンドブックを作成しました。

目　　次

- 地域と学校の連携・協働に携わる方々の声……1
- コミュニティ・スクールと地域学校協働……5
  - なぜ地域と学校の連携・協働が必要なの？……6
  - コミュニティ・スクールって何？……7
  - 地域学校協働活動って何？……8
  - 地域学校協働本部って何？……10
  - コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進とは？……11
  - 地域と学校が連携・協働するために……12
  - コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を推進するメリット……13
- 愛知県におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の実施状況……14
- 地域と学校の連携・協働に関わるために……17
  - 地域の一員として参画しよう……18
  - 地域と学校の連携・協働に向けて社会教育委員に期待される役割……19
  - 地域と学校の連携・協働に向けた学校の取組……20
  - もっと学びたい方へ……21

地域と学校の連携・協働に携わる方々の声

実際に携わっている方々の思いを
聞いてみましょう。

地域と学校の連携・協働に携わる方々の声

子供たちのため、学校のため、地域のために何かできないかと思っています。どのような方々が関わっているのでしょう。

皆さん、どのような思いで活動されているの知りたいです。

学校運営協議会委員

春日井市　藤山台学校運営協議会
会長　　伊藤　隆次　氏

地域と学校の連携・協働を深めるための活動は多岐にわたります。その中で大切に思うことは、子供たちに直接何かを教える活動も大切ですが、大人が地域活動に積極的に関わる姿を見せることが、子供たちにとって大きな学びになると考えています。私たちが地域のために、子供たちのために、真剣に考え、行動する姿は、子供たちに何かを教えなくても、きっと伝わるものがあるはずです。例えば、清掃活動に参加する姿、地域の運動会を盛り上げる姿、子供たちのために知恵を絞る姿。そうした大人の姿をとおして、子供たちは地域への愛着や貢献する心を育んでいくのではないでしょうか。効果は目に見えるわけではありません。簡単に土壌・風土は変わらないかもしれません。しかし、地道な活動を続けることにより、子供たちが藤山台を巣立つ時、「ここで育って本当によかった」と思える。そんな未来を、地域と学校が手を取り合って、共に築いています。

地域学校協働活動推進員

豊田市立前山小学校
地域コーディネーター　　栗本　美幸　氏

私は、豊田市立前山小学校で地域学校共働本部の地域コーディネーターを務めています。今年で８年目になります。我が子もお世話になった学校で、PTA役員やボランティア等、子供たちに関わってきた経験を経て、今は地域コーディネータとして母校に恩返しをしています。

子供たちのために、先生方、地域の方々、ボランティアの方々が、気軽に学校サポートの活動に参加できるようにスマートフォンを使ったシステムを導入しました。そのおかげで、ますます多くの人がチーム一丸となって、前山小を支えてくださっています。

卒業した方も初めての方も、久しぶりの方も、気軽に参加できる活動を提供し、笑顔と感謝があふれるやりがいのある地域貢献活動を目指しています。これからも地域と学校の架け橋としてお役に立てるよう邁進します。

地域と学校の連携・協働に携わる方々の声

社会教育委員

愛知県社会教育委員連絡協議会　会長
豊橋市社会教育委員　谷中　緑　氏

私は教員として学級経営や学校運営に邁進した頃、地域ボランティアの方々は子供たちの育ちの力になっていると、感謝の思いでいっぱいでした。退職後社会教育に携わり、地域の方々もまた、学校や子供たちに関わることで人とつながり、地域の絆も深まると実感しました。

そして現在は、様々な立場の社会教育委員10名とともに、豊橋市社会教育審議会で教育委員会が提起の喫緊の課題について、多角的な視野で意見交換や助言をしています。令和６年度からは「中学校部活動の地域展開」について、豊橋市が本年９月に土曜日の学校部活動がなくなり生み出される〝時間と場所〟を、中学生に運動や文化的活動の選択肢を広げる機会とすべく、議論を重ねているところです。私はこの施策が本市に連綿と続いてきた『地域ぐるみの教育』を生かし、社会教育や青少年健全育成の視点から豊橋の子供たちにとって「体験を広げる場」「様々な人と関わる場」の一つとなるよう願っています。

校　長

県立足助高等学校長　上沼　善雪　氏

愛知県立足助高等学校では令和３年度からコミュニティ・スクールを導入し、「学校運営協議会」を年３回開催しています。協議会において学校の取組や要望を委員と共有することで、地域からの協力が得やすくなり、教育活動が円滑に進められています。また、下部組織として「魅力化検討部会」を月１回開催し、令和８年度新設「観光科」の魅力向上に向けた具体的な取組を、市職員、地元事業所員、同窓会長と進めています。

地域の観光資源を生かした探究活動に力を入れ、地域学校協働活動推進員の支援を受けて、生徒たちは地域とのつながりを深めながら学びを進めています。特に、登山道整備活動やボランティア活動を通じて、学校と地域社会の絆が強化されています。

地域からの支援が生徒の学びの質を向上させ、生徒たちは生き生きと活動しています。さらに教職員の負担軽減にもつながり、教育環境の向上にも寄与しています。

教　諭

瀬戸市立長根小学校
地域連携担当教職員　長谷川　良　氏

瀬戸市立長根小学校では、コミュニティ・スクールを導入し、地域の方々と一緒になって「地域とともにある学校づくり」を進めています。いろいろな協働活動がありますが、中でも「ねこ丸隊」と呼ばれる、週一回教室で行われる活動が特徴的です。始業前の10分間、漢字や算数のプリントに子供たちが取り組み、その丸つけをしてくださるのが、「ねこ丸隊」の地域の方々です。プリントの丸つけをする中で交わされる、温かい賞賛や励ましなどの身近な関わりにより、子供たちのやる気に火がつきます。何より、地域や保護者の方々とコミュニケーションをとることは、子供たちにとって貴重な経験となっています。

コミュニティ・スクールの活動を進める中で、全教職員で同じビジョンをもつことがとても大切であることに気づかされました。ビジョンを共有することにより、教職員からアイデアが集まり、子供たちにとって価値のある活動が創出されています。また、地域の方々との交流により、私たち教職員の視野も広がったと思います。コミュニティ・スクールが導入されて本当によかったと思っています。

地域と学校の連携・協働に携わる方々の声

社会教育士

一般社団法人　朋育（名古屋市）
代表理事　　大関　朋子　氏

名古屋市内の中学校のPTA会長で社会教育士。私たちのPTAは、やりたいが実現できる・やりたいを形にする、慣例の行事や活動ではなく話し合いで気になることに取り組める臨機応変なPTAとしてプロジェクト制を導入しています。「瑞中フレンドシッププロジェクト」として、６年度はテーマを「正しく学び、楽しく動く」とし、五つのプロジェクトに取り組みました。その一つ、防災プロジェクトでは、大人たちの知りたい・やりたいと、子供たちの知りたい・やりたいが交わるところとして、PTAとキャリアナビゲーター共催で「夏休みわくわく学校キャンプin 防災〈初〉」を実施。キャリア防災クラブの生徒たちによる避難所運営、PTA・地域・行政・大学・企業が主体的に連携し、宿泊をともにし、対話・学び・交流の新たな形を経験しました。社会教育の視点でPTAを再構築。在り方が変わり、活動が変わり、様々な協働の可能性が見えてきて今後も楽しみです。

地域ボランティア

ふるさと創造舎（岡崎市）代表　　荻野　嘉美　氏

「今日の給食のお米は、甘くて、もちもちして美味しい。（低学年女児）」、「ぼくは３杯もおかわりしちゃった。（高学年男児）」、「いつもはごはんが残るけど、今日は完食でした。（担任の先生）」── これは、岡崎市内全小中学校の学校給食に、環境にやさしい農薬・化学肥料を使わずに育てた「幻のお米」ミネアサヒを提供して一緒に給食を食べた時に子供たちや先生がつぶやいた感想です。有機栽培のお米を提供したお米農家として、これほどうれしい言葉はありません。子供たちには、事前に農薬を使わないお米作りの苦労や喜びについて話を聞いてもらっているだけに、感慨もひとしおでした。自分の手元には、子供たちが有機栽培のお米を食べた感想や生産農家への思いをはせた300通程の手紙があります。明日のお米作りへの勇気と元気をもらいました。地域と学校がつながり、子供と温かい交流が生まれるところに、地域学校協働活動の意味を感じました。

学生ボランティア

半田市立宮池小学校　地域学校協働活動
学生ボランティア　　阪部　加奈　氏

私は、半田市立宮池小学校の地域学校協働活動で、学生ボランティアとして「なんでも相談窓口」や「スタディ・サポート」、「子ども食堂『みやっ子サロン』」に参加しています。

子供たちは、会うたびに様々な姿を見せてくれます。子供たち一人一人との関わりを通じて、個々の成長を感じることができたり、笑顔で「ありがとう」と言ってもらえたりしたときは、本当にうれしく、参加していてよかったと思います。また、子供たちが困ったことや悩みごとなどを抱えていないか、一緒に遊んだり話したりして関わりながら観察し、些細な変化に気づくことができるよう心掛けています。

宮池小学校の地域学校協働活動は、子供たちの「居場所」になっていると感じており、これからも一人でも多くの子供の「居場所」がつくれるよう活動を続け、後輩へとつなげていきたいです。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動

なぜ地域と学校の連携・協働が求められているのか、「コミュニティ・スクール」や「地域学校協働活動」とは何かについて見ていきましょう。

なぜ地域と学校の連携・協働が必要なの？

そもそも、どうして地域と学校の連携・協働が求められているのですか？

コンサルタントが答えます。時代の変化とともに地域と学校の在り方が変化し、それぞれが抱える課題を自分たちだけで解決することが難しくなっており、協力して子供たちの成長を支える動きが各地で始まっています。

愛知県CS・地域学校協働活動コンサルタント
愛知県が委嘱した、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動について豊かな知識や実践を有する方で、愛知県内の市町村や学校に対して指導・助言を行っています。

児童・生徒数の減少	少子高齢化の進行
保護者の学校に対するニーズの多様化	グローバル化・情報化の進展
児童・生徒指導に関わる課題の複雑化	地域社会におけるつながりの希薄化
「社会に開かれた教育課程」の実現	地域の教育力の低下
教員の働き方改革の必要性	学校を核とした地域の活性化

学校だけでは解決できない
地域だけでは解決できない

地域と学校が力を合わせることが必要

＜解説＞

一つ目の理由は、学校を取り巻く課題が非常に複雑化・困難化しているからです。保護者が学校に求めるニーズは高く、多様化しています。そして、子供たちの中にも、いじめや不登校、発達障害、家庭の貧困等、様々な課題や困難を抱えた子がいます。教員の働き方改革の問題も指摘されています。

二つ目の理由は、「社会に開かれた教育課程」の実現のためです。変化の激しい社会の中でたくましく生き抜いていける子供を育てていかなければなりません。そのためには、地域と学校が目標を共有して、子供たちに身につけさせたい力や資質をはっきりとさせ、地域の人や物を積極的に活用し、教育活動を展開することが求められています。

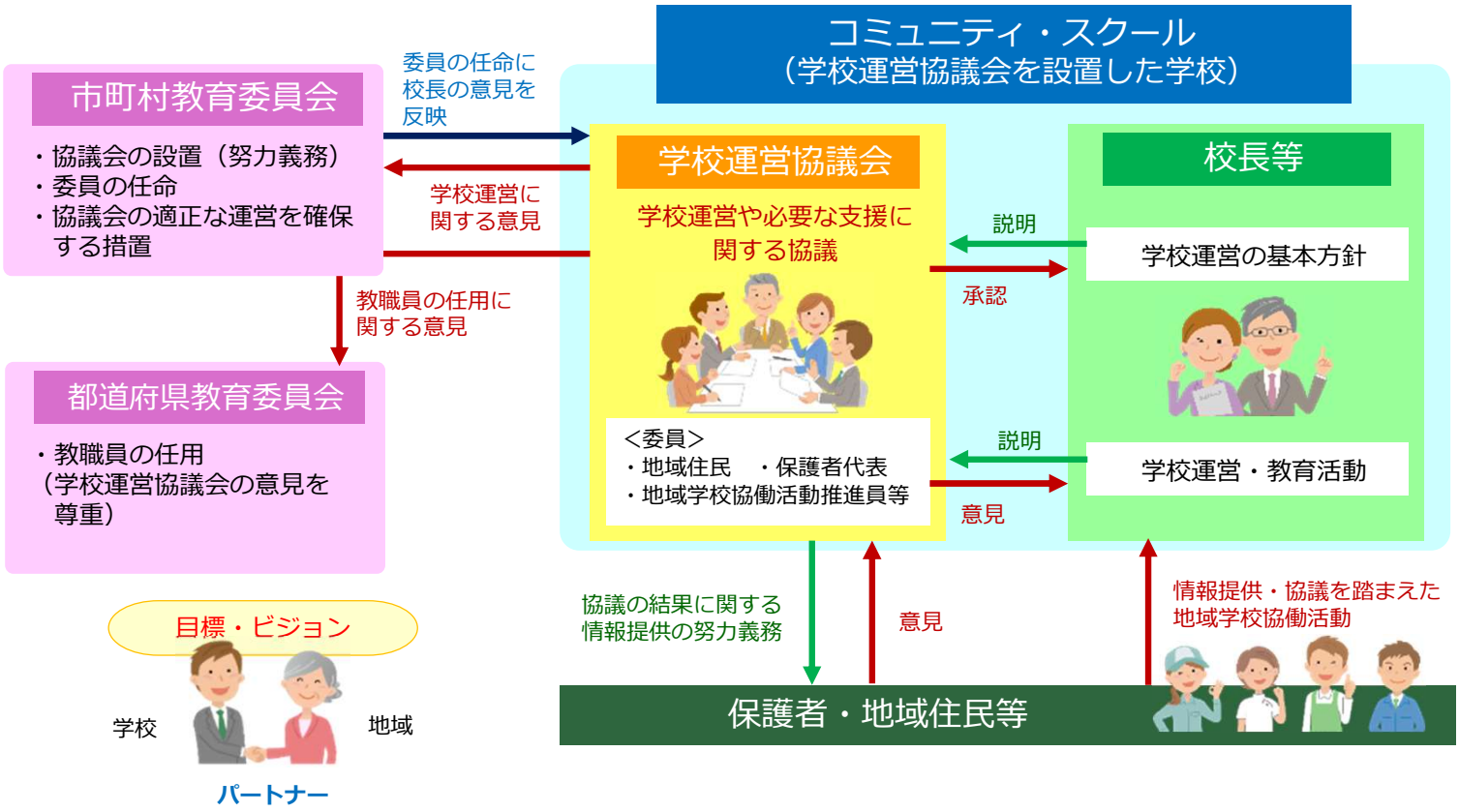
三つ目の理由は、地域における教育力が低下しているからです。少子高齢化や核家族化が進み、地域のつながりが希薄化しているところが多くなっています。まちづくりの在り方や地域の未来を考えるにあたり、学校の役割、子供たちの力がとても重要になっています。

こうしたことから、地域と学校の連携・協働が求められるようになっています。

コミュニティ・スクールって何？

最近、「コミュニティ・スクール」という言葉をよく聞きますが、どんなものですか？

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校のことを言います。学校と地域の連携・協働を推進するための一つの仕組みです。



＜解説＞

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことを言います。学校運営協議会では、教育委員会によって任命された委員が、学校の運営とそのために必要な支援について協議します。学校と地域はパートナーであり、「どんな子供を育てたいか」、「どんな学校にしたいか」といった目標やビジョンを共有し、学校運営を行います。

学校運営協議会には、次の三つの大きな役割があります。

① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。

② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる。

③ 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。

基本方針を承認したり、人事にも意見をしたりするなど、協議会に大きな権限が与えられています。学校と協議会は対等な立場であり、互いに当事者意識をもって協働していきます。コミュニティ・スクールでは、「OKからLet's」へということがよく言われます。単にOKするだけではなく、「Let's」＝「一緒にやろう」という姿勢が大切です。

地域学校協働活動って何？

「コミュニティ・スクール」とともに「地域学校協働活動」という言葉もよく聞きますが、どんなものですか？

地域学校協働活動とは、学校と地域が目標を共有し、地域全体で子供たちの学びや成長を支えたり、「学校を核とした地域づくり」を目指して行ったりする様々な活動です。

＜解説＞

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

地域学校協働活動は、単なる一方向的な学校支援ではありません。学校と地域が目標やビジョンを共有して行う、双方向の活動です。学校が地域を支援する、子供たちが地域の中で力を発揮する活動をとおして、育てたい子供像に迫っていくという視点も大切です。

地域学校協働活動には、これをしなければならないといったものはありません。各学校や地域で、それぞれの特色や課題に応じた様々な活動が行われています。

地域課題解決型学習・郷土学習	「放課後子ども教室」	「地域未来塾」
地域の方から地域について学び、地域の魅力を伝えたり、活性化の方策を考え実行したりする学習活動	地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動	全ての生徒を対象に、教員OBや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援
家庭教育支援活動	**学校に対する多様な協力活動**	**地域行事やボランティア活動への参画**
寄り添いが必要な子供、不登校傾向のある子供等への対応について、保護者が学び合う機会づくり等	登下校の見守り、学校及び周辺環境の整備、読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援等	地域イベントにおけるボランティア、祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画等

ミシン学習の支援や調理実習の補助、野菜の栽培指導、校庭の草刈り等、私の子供の学校でも「地域学校協働活動」が行われているのですね。

私の学校でも生活科の校外学習の引率補助や小学１年生の給食時の配膳支援が行われています。

愛知県内の取組事例

授業支援
（地元と連携した探究学習）【豊田市】

観光ビジネスコースでは、地元の観光資源を生かし、地域課題の解決と地域の活性化に向けて探究活動を進めています。観光庁、青年会議所、豊田市役所足助支所等の方から指導・助言をいただいたり、企業からの支援を受けたりして、「まちやどスクール」で着物カフェを開催したり、鹿肉カレーの開発・販売に取り組んだりしました。地域の方の協力により、体験的な学びが充実しています。

【愛知県立足助高等学校】

授業以外での学習支援
（プリントの丸付け「ねこ丸隊」）【瀬戸市】

長根小学校では、始業前の10分間、漢字や算数のプリントに子供たちが取り組み、その丸付けを「ねこ丸隊」と名付けた地域の方々が行っています。週一回行われる「ねこ丸隊」の日になると、待ちわびた子供たちは、「ねこ丸隊が来る！」と笑顔で地域の方を迎えています。地域の方に丸をつけてもらい、褒めてもらうことは、子供たちの喜びと学習意欲の向上につながっています。

【瀬戸市立長根小学校】

放課後の居場所づくり
（コミュニティークラブ）【東浦町】

緒川小学校では、「おがわっ子ENJOYクラブ」として４年生から６年生を対象に年７回実施しています。放課後の子供たちの居場所として学校運営協議会主体で実施しています。地域の方を講師とした講座を開催し、剣道や少林寺拳法、編み物等の体験活動に取り組んでいます。子供たちにとって地域の方々とふれあえる楽しい時間となっており、地域の方にとってもやりがいにつながっています。

【東浦町立緒川小学校】

中学生との協働活動
（ドリームの会）【田原市】

「ドリームの会」は、田原市立福江中学校の生徒でつくられているボランティアクラブです。100名程が在籍し、地域からの要望に応えて休日にボランティア活動を行っています。海岸清掃、福祉施設での手伝い、校区の清掃活動、ミニコンサートの運営補助等、活動内容は多岐にわたっています。ボランティアの心を育てるとともに、子供たちが地域の方々との交流を深めるよい機会にもなっています。

【田原市立福江中学校】

校内の居場所づくり、相談活動
（ほてっこルーム）【江南市】

布袋小学校では、教室になかなか入れない、他の児童と一緒に活動することが難しい児童への支援の在り方について学校運営協議会で協議し、校内サポートルーム「ほてっこルーム」を設けました。いつでも気軽に利用できる温かい居場所づくりを目指し、心の教育相談員とともに、地域ボランティア「ほてサポ」の方々も支援に加わっています。地域の方の温かな支えが児童の安心感につながっています。

【江南市立布袋小学校】

休日の居場所づくり、地域との交流
（みやっ子サロン）【半田市】

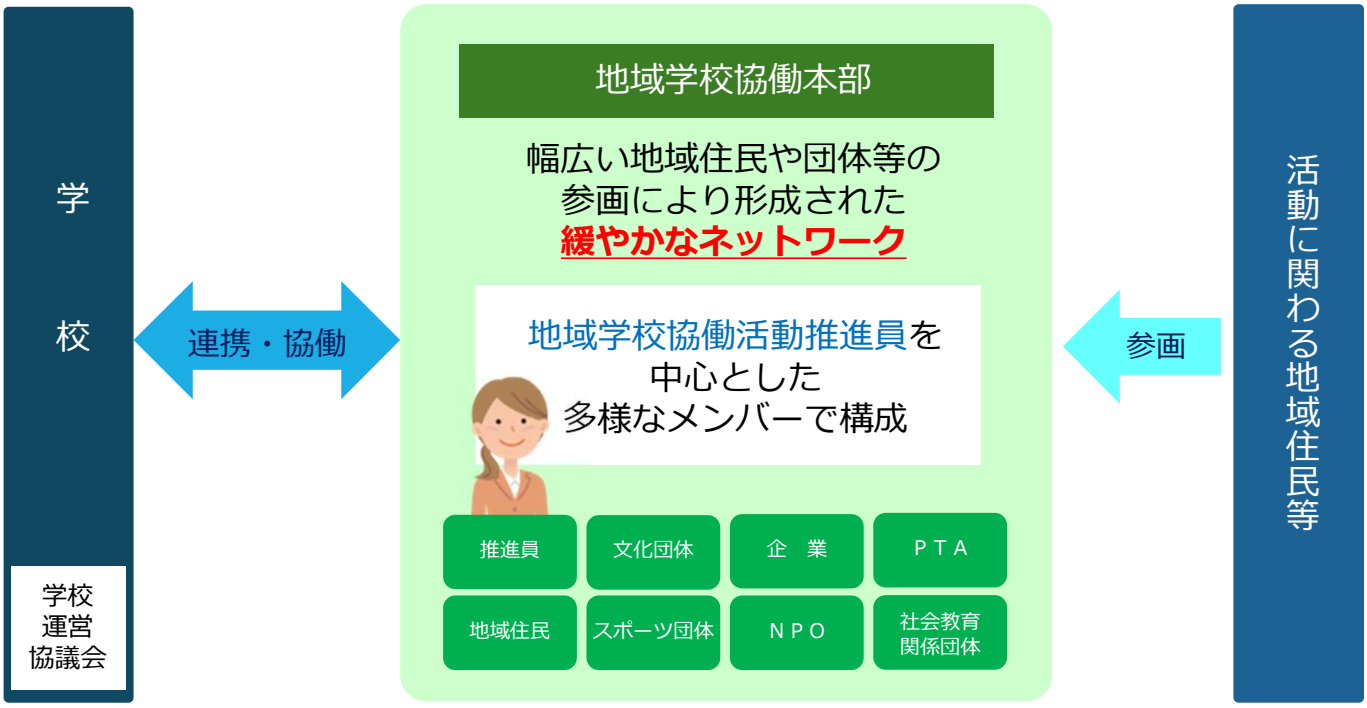
宮池小学校では、地域ボランティア「宮池小応援団」に設けられた「子ども食堂部会」が中心となって、毎月第４土曜日に「みやっ子サロン」を開催しています。地域の方々や大学生が運営し、子供たちに食事や工作、学習の場を提供しています。一緒に流しそうめん等をいただいたり、「くるくる」や「レーシングカー」等の工作に取り組んだりして、子供たちが地域の方々と交流を深める機会となっています。

【半田市立宮池小学校】

地域学校協働本部って何？

「地域学校協働活動」のことは分かったけれど、「地域学校協働本部」とは違うのですか？

「地域学校協働本部」とは、幅広い地域住民や団体等によってつくられるネットワークのことです。地域学校協働活動推進員を中心とした多様なメンバーで構成し、「地域学校協働活動」を進めます。



＊複数の学校を対象として一つの本部を設置している市町村もあります。
＊地域によって名称も様々です。
「○○小応援団」「□□中サポーターズ」「△△小サポートステーション」等

＜解説＞

地域学校協働活動の推進にあたっては、「地域学校協働本部」を整備することが有効です。この「地域学校協働本部」は、学校と地域が連携・協働して行う様々な活動を実践する組織あるいは推進する体制と言えます。

本部の構成員としては、以下の方々が想定されますが、地域によって様々です。

- 地域学校協働活動推進員・PTA 役員
- 公民館長・自治会・商工会議所・青年団
- 婦人会・農業委員・民生委員
- 社会福祉協議会・まちづくり協議会
- 放課後児童クラブ担当者・大学等有識者
- NPO代表　等

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進とは？

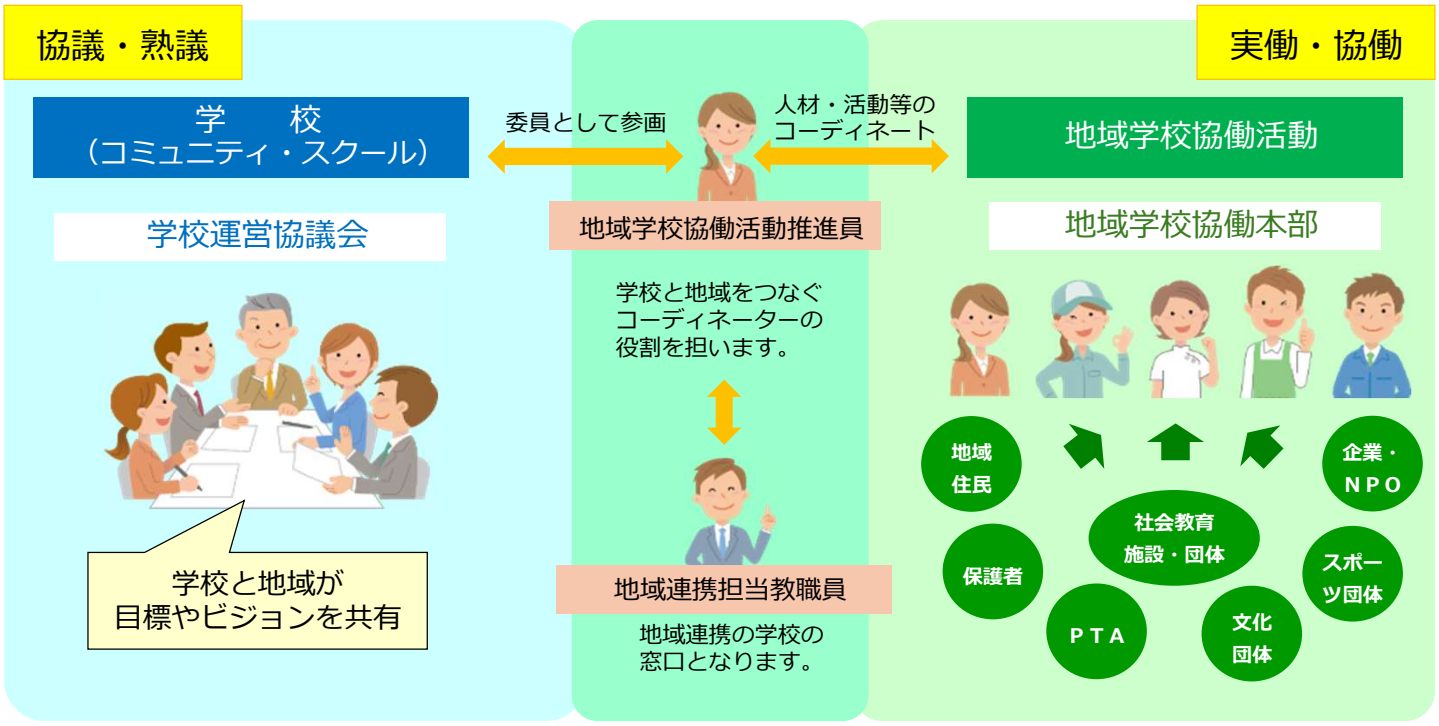
地域学校協働活動推進員がどのような役割を果たすと、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な推進が図られるのでしょうか？

地域学校協働活動推進員が学校運営協議会の委員となり、地域と学校をつなぎながら、それぞれの考えを橋渡しすることで、地域の皆さんと学校が一体的に地域学校協働活動を実行できると思います。

地域学校協働活動推進員

「地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）」は、地域住民等と学校との連絡調整等を行うコーディネーターで、以下の役割を担います。

- 地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案
- 学校や地域住民、企業・団体等の関係者との連絡・調整
- 地域ボランティアの募集・確保　等



<解説>

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することで、これまでそれぞれで活動していた地域・団体等が「緩やかなネットワーク」を形成することができます。また、共通の目標や課題のもとで、一緒に連携して活動を進めることができます。さらには、コミュニティ・スクールが、学校と地域、あるいは地域そのもののつながりを強化するとともに、地域学校協働活動がコミュニティ・スクールの目標に向けた活動の具現化につながります。

地域と学校が連携・協働するために

地域と学校が同じ方向を向いて連携・協働するためにはどうすればよいですか？

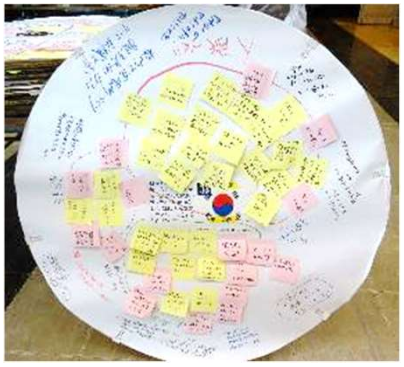
地域や学校が抱える課題、目標やビジョンを共有することが一番大切です。そのために「熟議」に取り組みます。

熟議

多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のことで、活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができます。

＜熟議のテーマ（例）＞
- どんな子供に育ってほしいか
- 地域と学校が一緒になってできることは
- 地域の力を子供たちの教育にどう生かすか
- 下校時の安全をどう確保するか
- 子供たちの学力を向上させるためには
- 郷土学習で子供たちに何を伝えるか　等

	進め方の例
①	熟議の目的等を確認する。
②	テーマについての知識・背景を共有する。
③	自己紹介をする。
④	付箋を使って意見をたくさん出す。
⑤	出された意見について方向性をもって話し合う。
⑥	グループでの話し合いを全体で発表する。



【 地域コーディネーター等研修会　熟議の演習より 】

＜解説＞

地域と学校が同じ方向を向いて、連携・協働を進めるためには、子供たちや地域・学校が抱える課題とともに、「どのような子供を育てたいのか」、「どんな学校や地域にしていきたいのか」という目標・ビジョンを共有することが大切です。そのために「熟議」に取り組みます。保護者の方、地域の方、学校の教職員が膝をつき合わせて議論することにより、互いの立場や役割への理解が深まり、今後の方針や取組を決めていくたくさんのヒントが得られます。

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を推進するメリット

「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」を進めるとどんなよいことがあるのですか？

子供たち、保護者の方、先生たち、地域の方、それぞれにメリットがあります。一例を挙げると次のとおりです。

子　供

- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。

保護者

- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

教職員

- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 授業等への地域の支援により、子供と向き合う時間の確保につながります。

地　域

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 地域のネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。

愛知県におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の実施状況

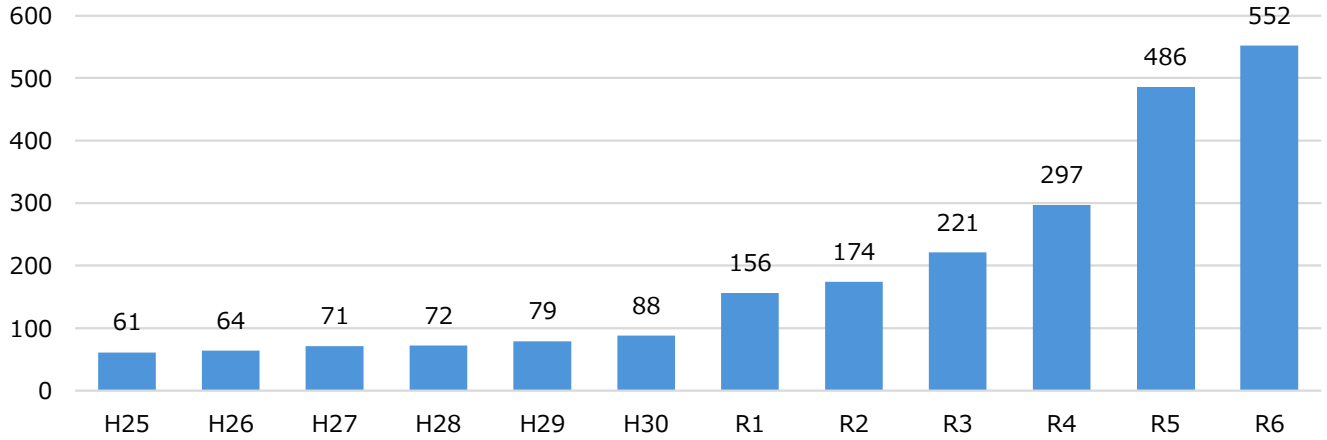
愛知県でコミュニティ・スクールの導入や地域学校協働本部の整備がどれぐらい進んでいるか見てみましょう。

愛知県におけるコミュニティ・スクール、地域学校協働活動の現状は？

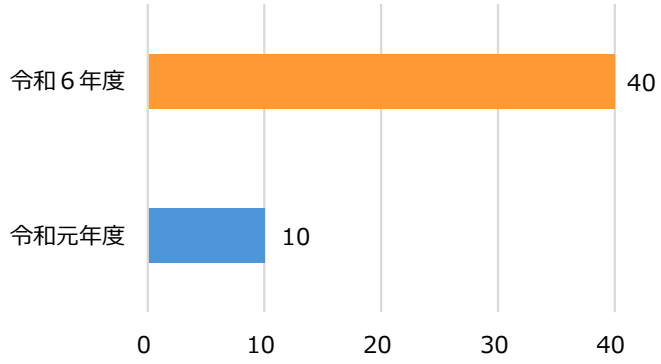
「コミュニティ・スクール」や「地域学校協働活動」の大切さがよく分かりました。愛知県ではどれぐらい進んでいますか？

文部科学省が毎年実施している「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動設置状況調査」【公立学校】では、次のような結果が出ています。（各年５月１日現在）

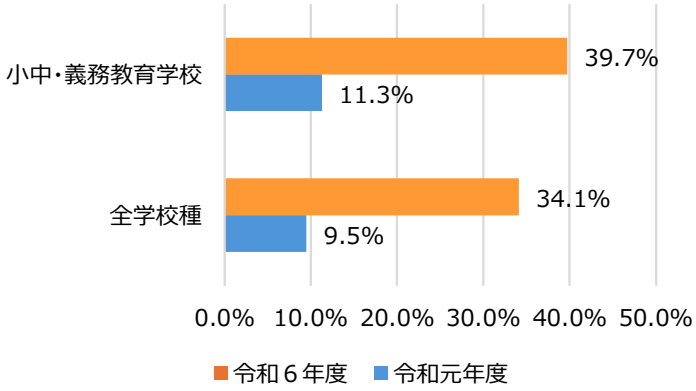
1　愛知県におけるコミュニティ・スクールの導入校数の推移（全学校種）



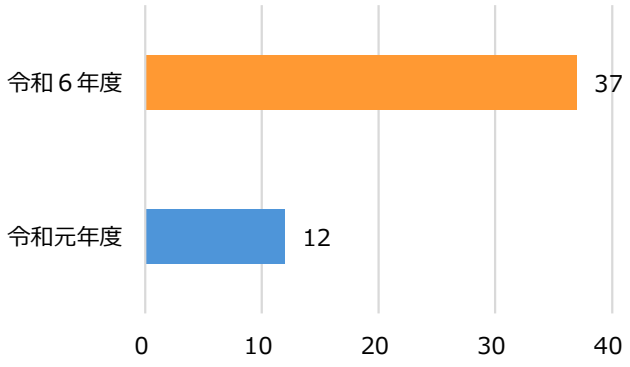
2　コミュニティ・スクール導入市町村数



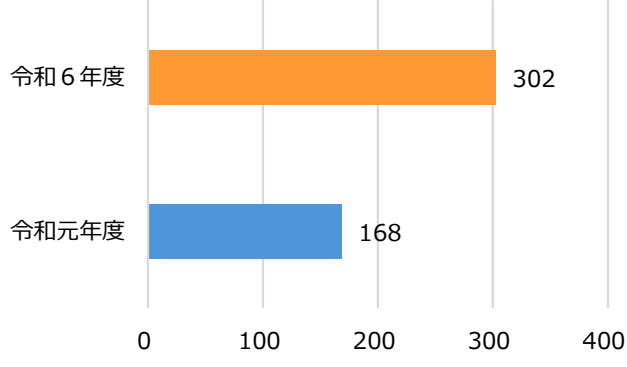
3　コミュニティ・スクールの導入率



4　地域学校協働本部整備市町村数

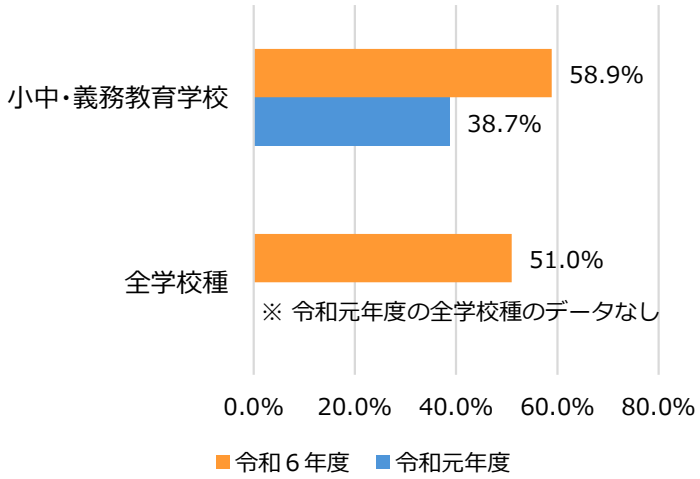


5　地域学校協働本部数



愛知県におけるコミュニティ・スクール、地域学校協働活動の現状は？

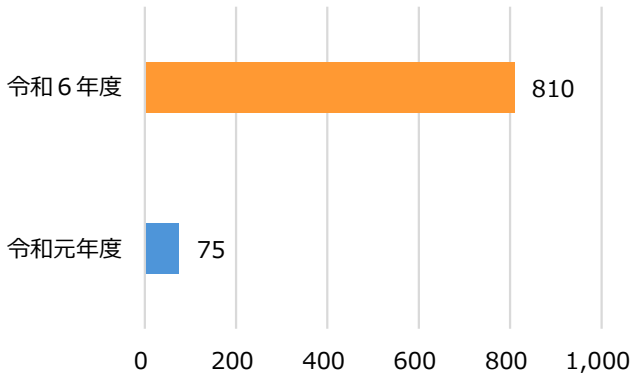
6　地域学校協働本部のカバー率（小・中・義務教育学校）



この５年間でコミュニティ・スクールの導入や地域学校協働本部の整備がずいぶんと進んでいますね。

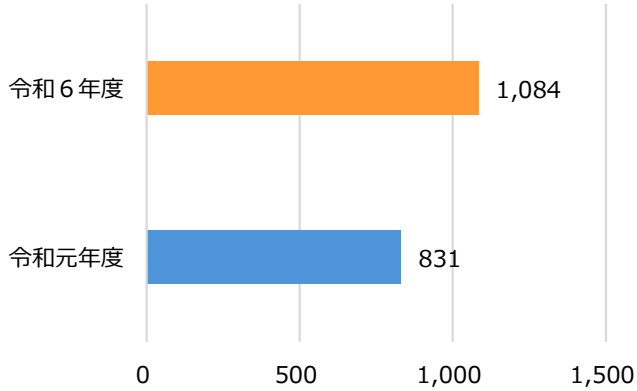
7　地域学校協働活動推進員の配置数

（統括的な地域学校協働活動推進員を含む）



8　地域コーディネーターの配置数

（統括コーディネーターを含む）



9　地域と学校の連携・協働を進めるにあたっての市町村の課題

令和６年度「学校と地域の連携・協働に関する調査（市町村用）」より

- 地域学校協働活動の予算や地域学校協働活動推進員の報酬の増額
- 地域人材の不足（ボランティア、学校運営協議会の委員、地域学校協働本部長、地域学校協働活動推進員）
- コミュニティ・スクールや地域学校協働活動について地域住民に趣旨がまだ浸透していない。
- ボランティアの高齢化、新たなボランティアの発掘と育成
- 地域ボランティアの拡大。現在はPTAボランティアの方が多いのが現状である。
- 学校運営協議会と地域学校協働活動が連動していない。学校運営協議会委員に「学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進」について理解を深めてもらう必要がある。
- 学校側に地域と学校の連携・協働による具体的な業務改善のメリット・デメリットが十分に伝えることができていない。
- 教職員の理解と意識改革
- 人口が少ないため、地域の方はすでに地域の役を掛け持ちしている状態。そのような中でコーディネーター、ボランティアを無償に近い条件で依頼するのは困難。
- 推進員がボランティア団体の代表のようになっているケースが多く、地域と学校の協働を推進するところまで手が回っていない。また、推進員という役割の理解が低い。
- 地域（特に青壮年層）と学校の双方に連携のための時間的余裕が不足し、十分な課題の洗い出しができていない学校が多い。
- 活動内容によっては教員の休日出勤・時間外勤務が発生し、教員の負担が増えることもある。
- セキュリティの問題もあり、地域学校協働本部の活動場所が学校の中に設置されていない。

地域と学校の連携・協働に関わるために

これから地域と学校の連携・協働にどのように関わっていくことができるか考えてみましょう。

地域の一員として参画しよう

地域と学校の連携・協働に向けて、地域の一人としてできることは何でしょうか？

そのように考える方が増えていけば、大きな力となります。「できる人が、できるときに、できることに取り組む」ことが大切ですね。まずは、地域や学校のことを知るところから始めてみませんか。

1 地域や学校のことをもっと知ろう

自身の住む地域や近くの学校で、今、どのような取組が行われているか調べてみましょう。コミュニティ・スクールがまだ導入されていない市町村もありますが、学習支援等の活動は多くの学校で行われています。学校だよりが回覧板で回覧される地区もありますし、学校のホームページでは学校の様子や子供たちの様子が随時配信されています。学習支援等のボランティアを募集している学校もありますし、市町村で登録制度を設けているところもあります。まずは、地域や学校の様子を調べるところから始めてみてください。

2 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動のことをもっと学ぼう

本ハンドブックは、地域と学校の連携・協働について基礎・基本的なことをまとめています。もっと知っていただくために、県や市町村が開催する研修会等にぜひ参加してみてください。県では毎年、学校の先生方、地域学校協働活動推進員、地域の方々等を対象として「地域コーディネーター等研修会」を開催しています。コミュニティ・スクールや地域学校協働活動に関わる様々な事例に触れたり、他の参加者と交流したりすることによって、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動についての理解が深まり、自身の関わり方が見えてくると思います。

3 地域や学校の活動に参加しよう

地域ボランティアの一人として、地域や学校の行事等にぜひ参加してみてください。授業の支援や登下校時の見守り、学校の環境整備、放課後や休日の学び・体験活動の講師等、参加には様々な形があります。自身の特技や趣味を生かす場もきっとあると思います。子供たちの笑顔や成長を間近で感じることは、きっと自身のやりがいにつながります。できるときに、できる形で、子供たちや学校、地域に関わってみてください。

地域の学校の連携・協働に向けて社会教育委員に期待される役割

私は市の社会教育委員を務めていますが、地域と学校の連携・協働に向けて、社会教育委員にはどんなことができますか？

できることは、その人やその人の住む地域によっても様々です。以下のことを参考に、自分にできそうなことを考えてみてください。

1 調査研究を行う

お住まいの自治体における地域と学校の連携・協働の状況を調査し、今後の在り方について考え、市町村教育委員会に提言します。社会教育委員の皆様が教育委員会に働きかけることで、地域と学校の連携・協働が一層推進されます。

2 学ぶ

研修等に積極的に参加し、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動のよさや魅力、地域と学校の連携・協働の大切さ等を正しく理解します。自らの学びが、その後の具体的な行動の礎となります。

3 広める

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動のよさや魅力を自らの言葉で地域住民に語り、広めます。社会教育委員の皆様の言葉がけで、地域と学校の連携・協働の機運が高まります。

4 つなげる

自身が学んだり体感したりした地域と学校の連携・協働のよさや魅力を語る中で、地域の方をボランティアの仲間に誘い、喜びや楽しさ、醍醐味を共有します。そうすることで、子供たちを支える輪が広がっていきます。

5 参画する①

学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員、地域コーディネーターとして、学校運営に直接携わります。社会教育委員の方が学校づくりに直接関わってくださることは、学校にとって大きな安心につながります。

6 参画する②

地域ボランティアの一人として、授業の支援や登下校時の見守り、放課後や休日の学び・体験活動の講師等、できる時にできる形で子供たちや学校に関わります。社会教育委員の方の積極的な姿勢が、地域の方々の参画にもつながります。

地域と学校の連携・協働に向けた学校の取組

地域と学校の連携・協働に向けて、学校はどんなことに取り組むとよいですか？

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動は管理職の先生方だけで進めるものではありません。以下のことを参考に、全教職員の共通理解のもとで、取組を進めてください。

1 校内での取組

- 目標やビジョン、課題の共有
- 地域連携担当教職員の配置
- 校務分掌との関連づけ
- 年間計画の作成
- 研修の実施、導入の意義・目的の周知
- 部会の組織
- 地域と関わる教育活動の整理・検討
- 「コミュニティ・ルーム」の設置　等

全教職員がコミュニティ・スクールや地域学校協働活動の意義や目的を知り、校内で目標やビジョン、課題を共有することが大切です。その上で、教務主任等どを中心に地域と関わる教育活動を整理・検討し、年間計画を作成していきます。地域連携における学校の窓口となる「地域連携担当教職員」を配置したり、地域学校協働活動推進員や地域の方々が気軽に来校して活動できるようにするための「コミュニティ・ルーム」のような部屋を確保したりすることも大切なことです。

2 保護者・地域への取組

- 導入の意義・目的の周知
- 参加・協力依頼
- 学校運営協議会委員の選定
- ボランティアの活用　等
- PTA活動との関連づけ
- 地域学校協働本部との連携
- 地域学校協働活動推進員の選定

学校は保護者や地域に対しても意義や目的をしっかりと伝え、参加を呼びかけていきます。地域の協力を得るためには管理職の役割はとても重要です。校長は明確なビジョンをもち、それを自身の言葉で保護者や地域の方、教職員に語っていきます。その思いやリーダーシップに触れたとき、多くの賛同が得られることでしょう。教頭は校長を補佐しながら、職員間、地域間の調整を図ります。

学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員の人選、地域の方々の参画にあたっては、日頃からの地域との関係づくりが重要になってきます。学校をよく知ってもらえるよう情報発信を積極的に行うとともに、学校行事等に気軽に来校していただけるよう呼びかけることが大切です。

もっと学びたい方へ

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動についてもっと学びたいと思います。参考資料として何を見るとよいですか？

以下のサイトを参考にしてください。

■ **あいちの社会教育**
【愛知県教育委員会あいちの学び推進課HP】
https://www.pref.aichi.jp/site/social-education/

■ **コミュニティ・スクール、地域学校協働活動リーフレット**
【愛知県教育委員会】
https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/514004.pdf

■ **eラーニング教材「学校と地域の連携・協働に向けて」**
【愛知県教育委員会】
https://youtu.be/fdZy4lZvPOA

■ **学校と地域でつくる学びの未来**
【文部科学省HP】
https://manabi-mirai.mext.go.jp/index.html

■ **コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）**
【文部科学省HP】
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/

■ **コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議 最終まとめ**
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/163/toushin/mext_00001.html

■ **NITS独立行政法人教職員支援機構　研修動画**
https://www.youtube.com/@NITSonlineCH/featured

令和６年度愛知県生涯学習審議会社会教育分科会　委員名簿

役職	氏名	現職等
会　長	益川　浩一	国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学 地域協学センター長・シニア教授
副会長	近藤　博子	愛知県社会教育委員連絡協議会幹事
委　員	池田紀代美	愛知県国公立幼稚園・こども園長会長 （名古屋市立第一幼稚園長）
委　員	大川千恵子	愛知県女性地域実践活動交流協議会長
委　員	永田　千佳	公募委員
委　員	彦坂永利子	愛知県公立高等学校長会（愛知県立大府高等学校長）
委　員	藤井　和久	愛知県都市教育長協議会（豊明市教育委員会教育長）
委　員	宮崎　初美	子育てネットワーカー
委　員	山口喜久枝	愛知県私学協会（日本福祉大学付属高等学校長）
委　員	山本　由佳	愛知県小中学校長会（清須市立清洲小学校長）

（敬称略）

令和６年度愛知県社会教育委員連絡協議会　役員名簿

役職	氏名（市町村名）	
顧　問	石黒　清介（　県　）（西尾張・大治町）	
会　長	谷中　　緑（　県　）（東三河・豊橋市）	
副会長	原田　信之（名古屋市）	山本　　忍（東三河・新城市）
	榊原　吉夫（東尾張・武豊町）	野田　光宏（西三河・岡崎市）
	松岡　徳雄（西尾張・大口町）	
幹　事	益川　浩一（　県　）	
	小野田耕治（東尾張・東郷町）	大江　晃正（東三河・豊橋市）
	榊原かおる（東尾張・半田市）	鈴木　庸子（東三河・蒲郡市）
	大島美智子（西尾張・一宮市）	中根　孝明（西三河・碧南市）
	永井　利明（西尾張・弥富市）	近藤　博子（西三河・知立市）
幹事会計	冨永　奇昂（西尾張・江南市）	今瀬　良江（西三河・みよし市）
会計監査	阿野　義久（東尾張・清須市）	細野　文治（東三河・豊川市）

（敬称略）

地域と学校の連携・協働推進ハンドブック
2025（令和７年）３月発行

愛知県教育委員会生涯学習審議会社会教育分科会
愛知県社会教育委員連絡協議会

〒460-8534　名古屋市中区三の丸三丁目１番２号
電　話：052-954-6780（ダイヤルイン）
メール：aichi-manabi@pref.aichi.lg.jp